

「医療安全レポート」の創刊にあたって

一般社団法人 医療安全全国共同行動

議長 高久史磨



安心・安全な医療は、医療を受ける側にとっても医療を提供する側にとっても切なる願いです。しかしながら、全国の医療機関、医療関係者の日々の懸命な努力にもかかわらず、未だ多くの医療事故が報告されています。

「医療安全全国共同行動」は、医療の提供に関わるさまざまな職種だけでなく、医療の受け手である患者・市民とのパートナーシップを通じて医療事故を減らすことを使命として、

- ①医療機関に是非とも取り組んでいただきたい10項目の行動目標を掲げるとともに、目標達成のための推奨対策を策定し、支援ツールを開発
- ②それらをまとめ、利用しやすくした書籍「医療安全実践ハンドブック」の出版
- ③「参加登録施設」制度を設け、有益な情報、ツール等の提供による支援活動
- ④「医療安全全国フォーラム」、各種研修会、ワークショップ等を通じて、専門家の講演や効果的な取組み等を紹介
- ⑤要望に応じた研修会、勉強会等への講師派遣などの事業活動を行ってきました。

さて、このような活動に加え、2017（平成29）年度の重点事業として、新たに「医療安全レポート」を発刊することとしました。本レポートでは医療事故の発生数や専門家による事例分析と改善策、病院長や有識者からの提言、市民・患者さんの声、海外情報等が読みやすい形にまとめられており、必ずや現場の医療職の方々にとって信頼できる情報源として役立つものと自負しています。特に、医療機関の管理者、医療安全管理者には是非とも継続してお読みいただきますよう、お勧めします。

私たちは、医療を受けられる患者さんの安全はもちろんのこと、第2の被害者とも言われる医療従事者を守りたいと強く願っています。本レポートを通じて、不幸な医療事故が些かなりとも減少し、医療安全の向上を目指す医療職間の相互理解および全国の医療機関との連携が深まることを切に願っています。

なお、本レポートは、当法人の「参加登録施設」「会員」には、無償で提供致しますが、その他の医療機関にも是非ともお読みいただきたく、お求めやすい価格で提供を致しますので、是非ともご購入につき、ご検討をお願い致します。また、この機会に、当法人の「参加登録施設」へご登録参加いただきますよう、併せてお願い致します。

2017年4月1日